

会 議 録

会 議 の 名 称	第4回 矢島地域協議会
開 催 日 時	平成19年2月9日(金) 午後4時00分
開 催 場 所	日新館ホール
出 席 者 氏 名	出席者名簿」のとおり
欠 席 者 氏 名	佐藤政一、佐藤久美、相庭直一、佐藤伸一、佐藤功、近藤正満、佐藤寿美子 打矢正敏、東海林晃、東海林久美子 10名欠席
会議次第 1. 開 会 2. 会長あいさつ 3. 区長あいさつ 4. 協 議 ・観光振興計画(案)について ・平成19年度主要事業について ・意見書(要望書)の作成について 分科会(3分科会にて意見交換) 5. その他 6. 閉 会	
会 議 の 経 過	別紙のとおり

◆出席者名簿

(36名)

委員 20名)	小 番 けい子	総合支所 8名)
会 長 鈴 木 清	佐 藤 嘉 孝	支所長 植村清一
副会長 武 内 詔 子	佐 藤 孝 義	振興課長 土田隆男
秋 山 哲 朗	沼 倉 睦 子	市民課長 佐藤則夫
茂 木 好 文		福祉保健課長 植田太一
土 田 龍 太 郎	区長 1名)	産業課長 伊豆 葵
赤 川 祐 一	自治区長 佐 藤 徳 弥	建設課 佐藤光男
佐 藤 永 吉		教育課長 三浦幹夫
三 浦 良 明	商工観光部 4名)	水道事務所長 菅原賢一
小 番 功	部長 藤 原 秀 一	
小 沼 文 夫	観光振興課長 佐藤良夫	事務 3名)
三 浦 省	鳥海山観光振興室長 榊 豊昭	振興課 滝野由紀夫
土 田 典 子	鳥海山観光振興室 三浦浩喜	振興課 佐藤昌司
相 庭 幸 子		振興課 東海林ひろ子
佐 藤 健 美		
三 浦 秀 人		
八 坂 美 智 子		

平成 18 年度 第 4 回地域協議会

・ 会長あいさつ

・ 区長あいさつ

・ 協 議

○観光振興計画（案）について

商工観光部長 ～ 観光振興計画の策定経過について説明

鳥海山観光振興室長～観光振興計画（案）について説明

質疑応答

A委員 ～かなり盛りだくさんな計画になっているが、計画を遂行するにあたり人的な対応が可能なのか。民間も活躍するということだが実際に誰がやるのかが疑問である。新しいものだけではなく既存イベント（例：サイクルロードレース）の充実を図ってもらいたい。

体験型観光という部分では、ネットを活用して、情報発信をもっと充実してもらいたい。

商工観光部長～行政では、観光協会の法人化等の基盤づくりを行っていき、観光振興計画が「絵に描いた餅」にならないようにしていきたい。又、既存イベントについても市をあげて、PR 等も含め行政と民間を協力しながら実施していきたい。

B委員 ～環鳥海構想という説明があったが、他地域でもこのような計画を持っているのか。また、鳥海山には、観光道路があるが、由利本荘市内には、東由利、大内、岩城にも多くの観光資源があるが、点と点をつなぐ観光道路的な整備計画はないのか。

商工観光部長～環鳥海構想について国土交通省の認定を受けている。一周するマウンテンバイク等のイベントも行われている。他地域も同様の考え方をもっており、心配ないものと考えている。又、各地域とのアクセス道路については、これまでも県へ要望している。旧町村間を結ぶ道路は災害なども考慮しても必要である。今後も緩めることなく連携していきたい。

C委員 ～観光協会は、どこにもあるが、観光案内人の組織は、すべての地域にあるわけではない。由利本荘市には、矢島と鳥海だけにしかない。全地域での組織化は難しいのではないか。すべての地域で組織化されれば非常にいいことである。

又、昨年皇太子が来市したことで、鳥海山の案内の依頼が出てきた。しかし、案内人は高齢で対応できない。山岳会員も高齢化してきており、対応できない状況になってきている。今後も鳥海山の案内の要望ができてくると考えられるので対応していかなければならないのではないか。

商工観光部長～各地域にも、歴史文化にかかわる案内の体制はあるので、はじめに観光協会と地域の連携を強化していきたい。又、鳥海山の案内については、今後の課題だと思うので協議していきたい。

D委員 ～計画にスキー場のリフトを3基にするとなっているが、今後もう1基増設するのか。クワッドリフトが整備されたが、リフトから降りた際、滑るために登らなければいけないのは他のスキー場にはないと思う。また、スキー大会等で利用するスタートハウスに行くまではさらに上らなければいけないため、3基目があれば非常によいのではないか。

商工観光部長～クワッドリフトの降り場所については、他からも言われていることである。今年度の状況をみて、改善できるところは改善したい。リフトについては、増設の計画はない。競技される方についてはスタートハウスまで準備運動として登っていただきたい。

E委員 ～計画は、一個人、一グループしか対象にしていないようにみえる。全国大会等全国規模のイベント等を開催する構想はないのか。

商工観光部長～サイクルロードレースが全国規模のイベントとなっている。花立では全国規模の集客できる広場はないか由利原高原を活用して、サイクルロードレースの前夜祭等を行うということもできるのではないか。新たに施設を作り行うのではなく、既存施設を活用して各地域の連携を図り大きなイベントにしていきたいと考えている。

F委員 ～特産品について、高い肉ではあるが由利牛を売り出してもらいたい。

商工観光部長～現在、増頭にむけて頑張っている。飼育していただける方がなかなか増えない。すぐみんながきて食べられるほど安くはならないとは思いますが今後もその方向でやっていきたい。

G委員 ～先ほどから法人化という言葉が飛び交っているが、農業の場合でも立ち上げの際は、行政が非常によく関わっていただいているが、その後のフォローがなかなかなく、衰退していつているのが現状。手を引くのではなくアフターケア（資金面ではなく）をしっかりとやり、状況を見届けてもらいたい。

商工観光部長～法人化に際しては、サポートについて話し合いをしながらしっかりとやっていきたいと考えている。

H委員 ～旧市町のイベントの経費と波及効果等について評価したものがあるのか。また、計画にかかる事業費用について算出しているのか。結局、他地域からお客が来ないとお金にならないが、計画をすべて実施する場合かなりの事業費になると思われるが、集客できるもの、住民の憩いとなるものなど見極めが必要ではないか。また、鳥海登山については、今井通子さんと呼ばび登山をやったりしているが、天候に左右されることもあるので整理し組み立てていくか考えなければならないと思う。鳥海山は安全な山ではないというところに問題がある。少し沢に入ると携帯が効かない。これまで数多くの人命を失っている。山菜取りにしろ、登山しろか

なり危険をはらんでいると思うので、安全な山にするためにも、携帯電話の電波の届く山にしてもらいたい。これも費用がかなりかかるものと思うが上部にも働きかけて実現できるようお願いしたい。

商工観光部長～イベントの経費等については、押さえたものはない。今後のまちづくり計画に掲載されている金額は３８億程度となっている。ミュージアム構想に１５億ほどの計画があったが、歴史文化を継承するものとか鳥海山に来た方が理解できるミュージアムとか総合案内所を兼ね備えたものとか今後に検討していきたいと考えている。今後、地域の皆さんと事業のあり方も含めて協議していかなければいけないものと考えている。携帯電話については、要望を行っている。

○平成１９年度 矢島地域の主要事業について

振興課長 ～別添、資料に基づき、平成１９年度の主要事業を説明

I 委員 ～住民自治活動支援交付金事業について、平成 18 年度の交付基準と大幅に変更になり、運動会や講演会などの実施が主となり町内会で簡単に事業を実施しづらく、補助を受けにくくなったと思う。

振興課長～平成１９年度は、若干交付内容変更になっている。お酒飲み等には支出できないとか制限がでてきています。実施にあたっては、各町内と協議をし、調整を図りながら交付事務を行っていききたい。

○意見書作成について

分科会

（後日作成後提出）

（終 了）